

(参考) 財務局及び財務事務所において判断した各地域の経済情勢

	総括判断 (令和元年7月判断)	前回の比較	総括判断の要点
北海道財務局	緩やかに回復している	➡	個人消費は、コンビニエンスストア販売が順調となっているほか、ドラッグストア販売が前年を上回っているなど、緩やかに回復している。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が広がっている。観光は、拡大しつつある。
東北財務局	回復しつつある	➡	個人消費は、スーパー販売が主力の飲食料品で堅調であり前年並みとなっているほか、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が前年を上回っていることから、緩やかに回復している。生産活動は、汎用機械などが減少していることから、緩やかに持ち直している。雇用情勢は改善している。
> 青森	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は改善している。
> 岩手	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は緩やかに回復しており、生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は改善している。
> 宮城	緩やかに回復している	➡	個人消費は緩やかに回復しており、生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は改善している。
> 秋田	持ち直している	➡	個人消費は持ち直しており、生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は改善している。
> 山形	緩やかに回復している	➡	個人消費は緩やかに回復しており、生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は改善している。
> 福島	回復しつつある	➡	個人消費は緩やかに回復しており、生産活動はおおむね横ばいの状況にある。雇用情勢は改善している。
関東財務局	回復している	➡	個人消費は、百貨店販売額及びスーパー販売額が前年を下回っているものの、コンビニエンスストア販売額及びドラッグストア販売額が前年を上回っているなど、全体として回復しつつある。生産活動は、汎用機械などが減少しているものの、輸送機械、生産用機械が増加しているなど、全体として緩やかに持ち直している。雇用情勢は、改善している。
> 茨城	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売額が全店ベースで前年を上回り、コンビニエンスストア販売額も前年を上回っているなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、化学や金属製品などが好調なことから、緩やかに回復している。雇用情勢は、雇用保険受給者実人員が前年を上回ったものの、有効求人倍率が高水準となっており、改善している。
> 栃木	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売額や乗用車の新車登録届出数が前年を下回っているものの、家電大型専門店販売額やドラッグストア販売額が前年を上回っているなど、全体として緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、改善している。
> 群馬	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、持ち直している。また、雇用情勢は、改善している。
> 埼玉	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回っているものの、コンビニエンスストア販売額が前年を上回っているなど、全体として緩やかに回復しつつある。生産活動は、業務用機械などが減少しているものの、輸送機械、生産用機械が増加していることから、全体として持ち直している。雇用情勢は、改善している。
> 千葉	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費、生産活動はともに緩やかに持ち直しつつあり、雇用情勢は改善している。
> 東京	一部に弱い動きがみられるものの、回復している	➡	個人消費は、一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつあり、産業活動も、回復しつつある。雇用情勢は、改善しており、人手不足感が強まっている。
> 神奈川	一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつある	➡	個人消費は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、改善している。
> 新潟	生産活動に一服感がみられるものの、回復しつつある	➡	個人消費は回復しつつある。生産活動に一服感がみられる。雇用情勢は改善しており、人手不足感が強まっている。
> 山梨	回復に向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は緩やかに持ち直している。また、生産活動は回復のテンポが緩やかになっており、雇用情勢は改善している。
> 長野	生産活動の一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している。雇用情勢は、改善している。
北陸財務局	緩やかに拡大しつつある	➡	個人消費は、ドラッグストア販売が好調となっているほか百貨店・スーパー販売が緩やかに回復していることなどから、全体としては緩やかに拡大しつつある。生産活動は、化学が拡大しているほか、生産用機械が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスが足踏みの状況にあり、全体としては拡大の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が強まっている。
> 富山	回復している	➡	生産活動は拡大に向けたテンポが緩やかになっているものの、個人消費は回復している。また、雇用情勢は着実に改善しており、人手不足感が強まっている。
> 石川	回復している	➡	生産活動は回復のテンポが緩やかになっているものの、個人消費は回復している。また、雇用情勢は着実に改善しており、人手不足感が強まっている。
> 福井	緩やかに拡大しつつある	➡	生産活動は拡大の動きに一服感がみられるものの、個人消費は緩やかに拡大しつつある。また、雇用情勢は着実に改善しており、人手不足感が強まっている。
東海財務局	緩やかに拡大している	➡	個人消費は、コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売が増加しているほか、乗用車販売や家電大型専門店販売が持ち直しているなど、全体では回復している。生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、輸送機械を中心に緩やかに拡大している。こうしたなか、有効求人倍率が引き続き高水準となっているなど、労働力需給は引き締まっている。
> 岐阜	緩やかに回復している	➡	個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は緩やかに回復しつつある。また、雇用情勢は着実に改善している。
> 静岡	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している	➡	生産活動は、自動車関連が弱含んでいるなど、全体ではおおむね横ばいとなるなか、雇用情勢は改善し、個人消費は緩やかに持ち直している。
> 愛知	緩やかに拡大している	➡	個人消費が回復していることに加え、生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、輸送機械を中心に緩やかに拡大しているなか、労働力需給は引き締まっている。
> 三重	一部に弱い動きがみられるものの、回復している	➡	一部に弱い動きがみられるものの、個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は輸送機械を中心に回復している。こうしたなか、雇用情勢は改善している。

(注) ※ 令和元年7月判断は、前回平成31年4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

	総括判断（令和元年7月判断）	前回との比較	総括判断の要点
近畿財務局	緩やかに拡大しつつある		生産活動は、生産用機械等が低下しているなど回復のテンポが緩やかになっているものの、個人消費はコンビニエンスストアやドラッグストア等の販売が堅調となっているなど緩やかに回復しており、雇用情勢も一層の改善が進んでいる。
▷ 滋賀	回復しつつある		個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、生産活動は回復しつつあり、雇用情勢は着実に改善している。
▷ 京都	緩やかに拡大しつつある		生産活動は拡大に向けたテンポが緩やかになっているものの、個人消費は緩やかに回復しているほか、雇用情勢は一層の改善が進んでいる。
▷ 大阪	緩やかに拡大しつつある		生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっているものの、個人消費は回復しているほか、雇用情勢は一層の改善が進んでいる。
▷ 兵庫	緩やかに回復している		生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっているものの、個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、雇用情勢は着実に改善している。
▷ 奈良	緩やかに回復しつつある		個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、生産活動は持ち直しており、雇用情勢は着実に改善している。
▷ 和歌山	緩やかに回復しつつある		個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、生産活動は回復しており、雇用情勢は着実に改善している。
中国財務局	緩やかに回復している		個人消費は、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が好調であるなど回復しつつある。生産活動は、輸送機械が高操業を維持しているなど緩やかに回復している。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が一段と広がっている。
▷ 鳥取	緩やかに持ち直している		個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は着実に改善しており、人手不足感が継続している。
▷ 島根	持ち直している		生産活動は回復に向けたテンポが緩やかになっているものの、個人消費は緩やかに持ち直しの動きが続いており、雇用情勢の改善も続いている。
▷ 岡山	緩やかに回復している		個人消費は、総じて回復しつつある。生産活動は、一部に海外需要の弱さがみられるものの回復しつつある。雇用情勢は、労働力需給が引き締まっており、引き続き人手不足感が強い状況にある。
▷ 広島	緩やかに回復している		個人消費は回復しつつあり、生産活動は緩やかに回復している。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が一段と広がっている。
▷ 山口	回復しつつある		個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動は回復しつつある。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が引き続き強い状況にある。
四国財務局	緩やかに回復している		個人消費は、スーパーが堅調な動きとなっているほか、乗用車販売などが前年を上回っており、また、観光においても好調となっていることから、全体としては回復しつつある。生産活動は、電気機械で引き続き電子部品向けの需要が減少しているものの、プラスチックで小売店向けの需要が増加していることから、全体としては、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、改善しており、人手不足感が広がっている。
▷ 徳島	緩やかに回復しつつある		個人消費、生産活動は持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が広がっている。
▷ 香川	緩やかに回復している		個人消費は回復しつつあり、生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつあるほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が広がっている。
▷ 愛媛	回復しつつある		個人消費は緩やかに回復しつつあり、生産活動は一部に弱さがみられるものの、持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が広がっている。
▷ 高知	緩やかに持ち直している		個人消費は持ち直しており、生産活動は緩やかに持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が広がっている。
九州財務局	緩やかに回復している		個人消費は、天候要因等の影響で百貨店・スーパー販売が伸び悩んでいるものの、コンビニエンスストア販売が順調なことなどから、回復しつつある。生産活動は、海外需要等を背景に回復している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善しているなかで、人手不足感が高まっている。
▷ 熊本	緩やかに回復している		個人消費は、天候要因等の影響で百貨店・スーパー販売が伸び悩んでいるものの、コンビニエンスストア販売が順調なことなどから、緩やかに回復している。生産活動は、海外需要等を背景に緩やかに拡大しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善しているなかで、人手不足感が高まっている。
▷ 大分	緩やかに持ち直している		個人消費は、乗用車の新車販売台数が前年を上回っているほか、宿泊・観光面が好調に推移するなど、持ち直しの動きが続いている。また、生産活動は、国内外の堅調な需要などを背景に、緩やかに持ち直しているほか、雇用情勢は、改善が続いているなかで、人手不足感が高まっている。
▷ 宮崎	緩やかに持ち直している		個人消費は、コンビニエンスストア販売額が前年を上回っているほか、新車登録・届出台数も前年を上回るなど、全体として持ち直している。また、生産活動は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつあるほか、雇用情勢は改善しているなかで、人手不足感が強い状況が続いている。
▷ 鹿児島	緩やかに回復しつつある		個人消費は、観光において一部に前年からの反動減が見られたものの、新車販売や旅行取扱高などが前年を上回ったことから、持ち直している。生産活動は、海外需要の減少等の影響により、回復に向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、改善が続いているなかで、人手不足感が広がっている。
福岡財務支局	回復している		個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回っているが、コンビニエンスストア販売額、乗用車新車登録・届出台数、ドラッグストア販売額などが前年を上回るなど、回復している。生産活動は、自動車向けを中心に足下の生産が弱まっているなど、回復のテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、有効求人倍率が引き続き高水準で推移するなど、改善している。
▷ 福岡	回復している		生産活動は回復のテンポが緩やかになっているものの、個人消費は回復しているほか、雇用情勢は改善している。
▷ 佐賀	回復しつつある		個人消費は緩やかに回復しつつあるほか、生産活動は回復しつつあり、雇用情勢は改善している。
▷ 長崎	緩やかに持ち直している		生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっているものの、個人消費は持ち直しつつあるほか、雇用情勢は改善している。
沖縄総合事務局	拡大している		個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が堅調に推移するなど、拡大している。観光は、入域観光客数が増加するなど、拡大している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善している。

（注）※ 令和元年7月判断は、前回平成31年4月判断以降、7月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。